

Panasonic

特定小電力

10mW 11チャンネルFMトランシーバ

品番 **RJ-MC100**

取 扱 説 明 書



保証書別添

- 取扱説明書は、よくお読みのうえ、大切に保管してください。
- 保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。

このたびは パナソニック 10mW11チャンネル FMトランシーバ RJ-MC100をお求めいただきまして、
まことにありがとうございました。

本機の特長

チャンネル合せ不要

.....マルチチャンネルアクセス
M C A

雑音を低減

.....高感度設計

他人に会話を聞かれない

.....シークレット機能

特定の相手の状態を確認しながら通信

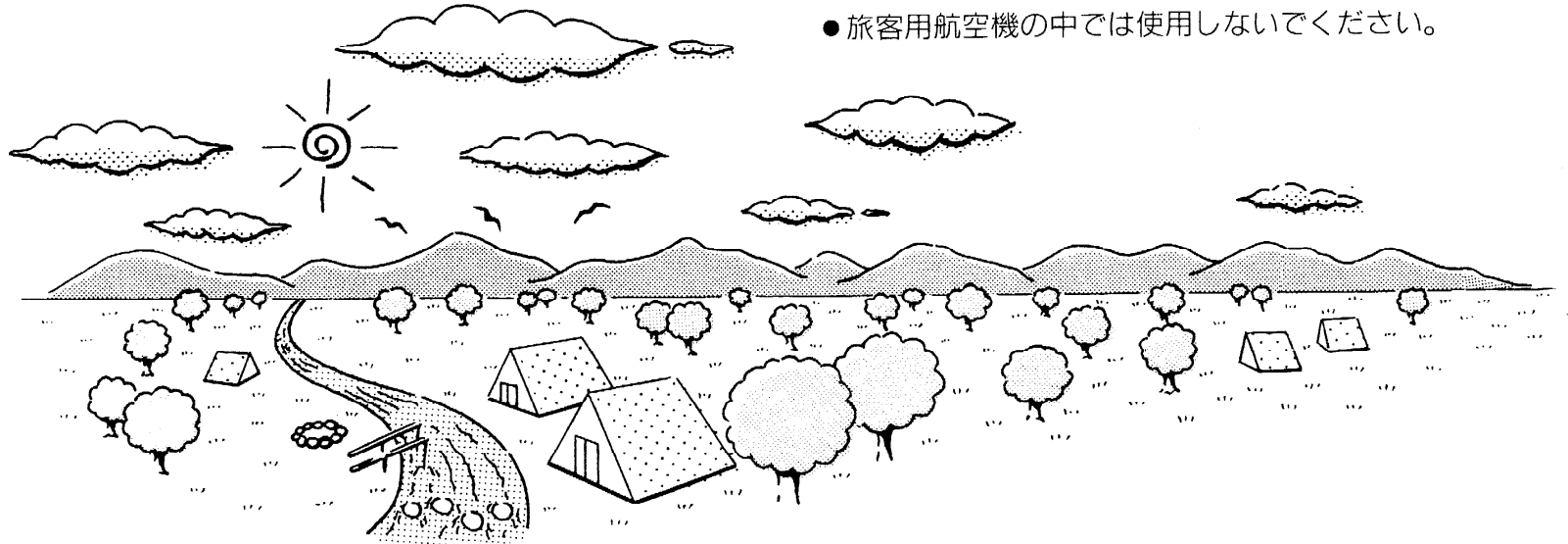
.....呼び出し機能

免許は不要です

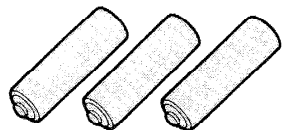
本機は郵政省の技術基準適合証明を受けて発売していますから、お求めになったその時からすぐにご使用いただけます。

電波法を守ってご使用ください

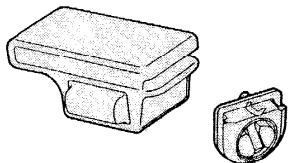
- 本機裏面の技術基準適合証明ラベルをはがして使用したり、分解や改造することは法律で禁じられています。
- 本機の使用は日本国内に限られます。
- 他人の通信を聞いて、これを漏らしたり、^{せつよう}窃用しないでください。
- 旅客用航空機の中では使用しないでください。



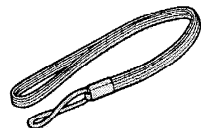
付属品



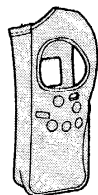
単三形乾電池
(3本)



ベルトクリップと
アタッチメント



ハンドストラップ

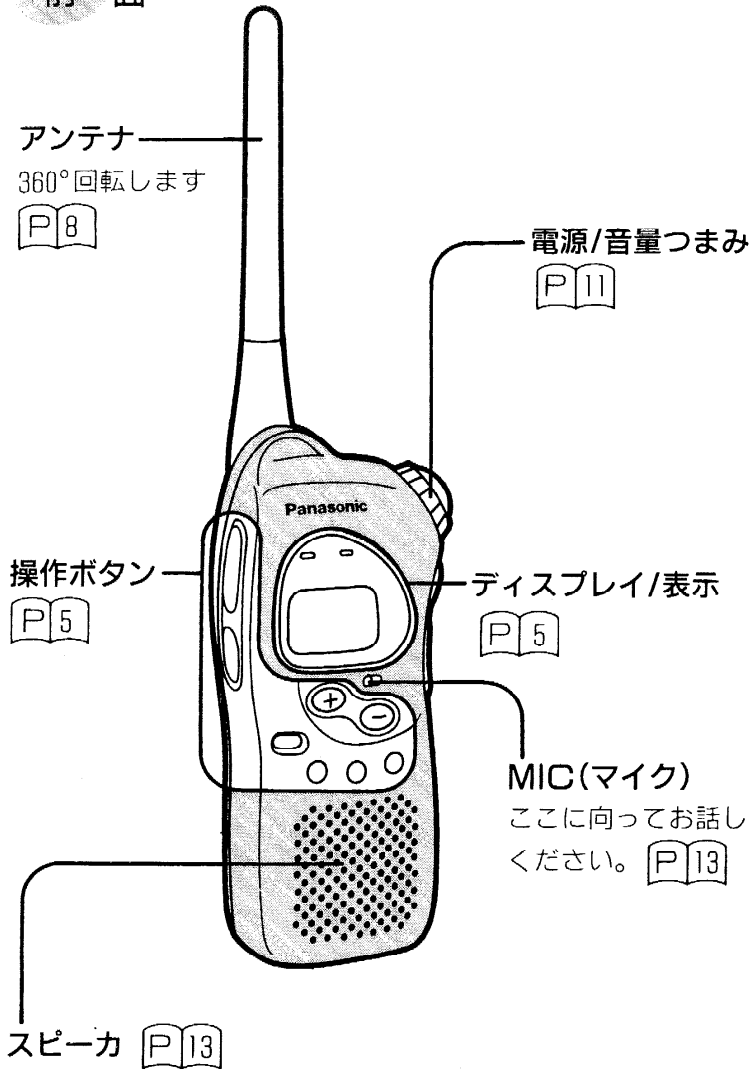


ソフトケース

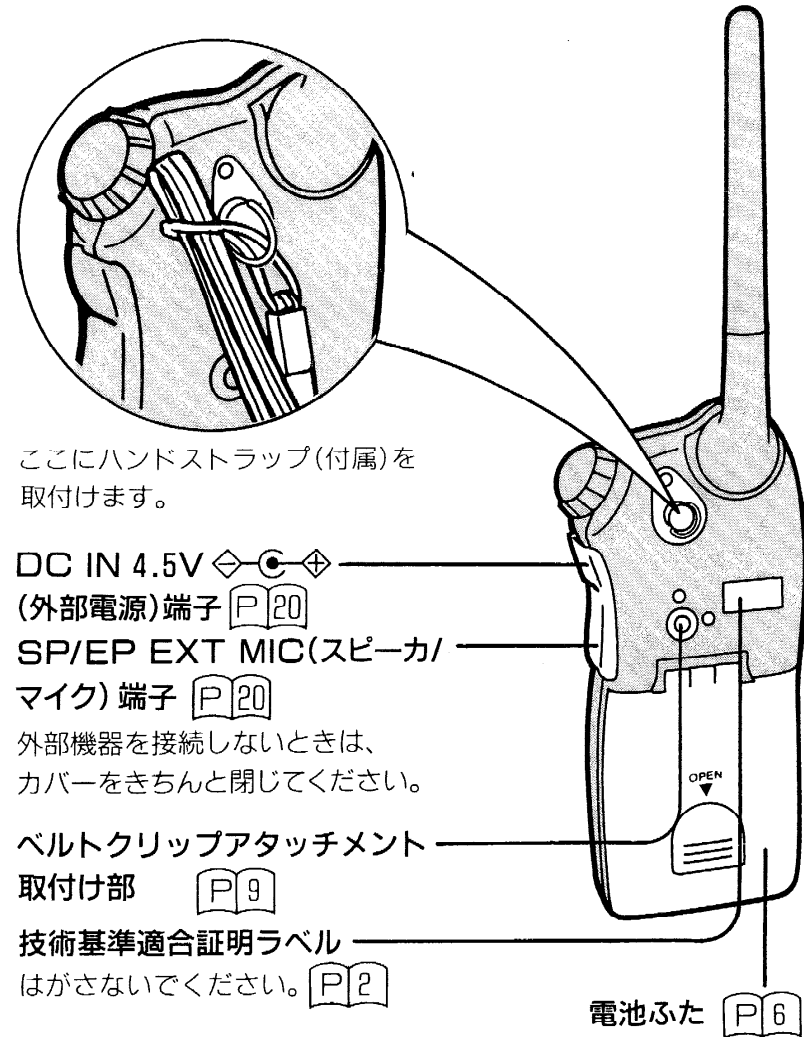
目次

各部のなまえとはたらき	4
乾電池の入れかた	6
通信のまえに	7
通信するには	10
● 呼び出し通信	11
● コールナンバーを登録する	17
● シークレット通信	18
便利な使い方	19
別売りアクセサリ	20
使用上のご注意	21
故障!?と思うまえに	21
アフターサービス	22
定格	23

前面



後面



操作ボタン

TALK(トーク)ボタン
送信するときに押してください。 **P12**

MONI(モニター)ボタン
音が途切れるときに使います。 **P14**

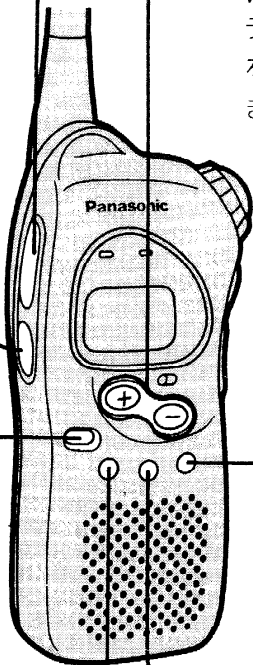
-HOLD/・LIGHT(ホールド/ライト)ボタン
ホールド状態のオン/オフを切替えます。
P7
ディスプレイを明るくしたいとき使います。
P19

SECRET(シークレット)ボタン
シークレット通信をするときに使います。 **P18**

+ (アップ)/- (ダウン)ボタン
ディスプレイの数字をかえるときに使います。 **P11**

ENTER(エンター)ボタン
登録の開始や終了に使います。
P17

MODE(モード)ボタン
通信モードの切換えに使います。 **P11**



ディスプレイ/表示

ON AIR表示
送信中に点灯します。
P13

BUSY表示
受信中に点灯します。 **P13**

使用している通信モードを表示します。
P11

コールナンバーを表示します。 **P11**

メモリー番号を表示します。
P17

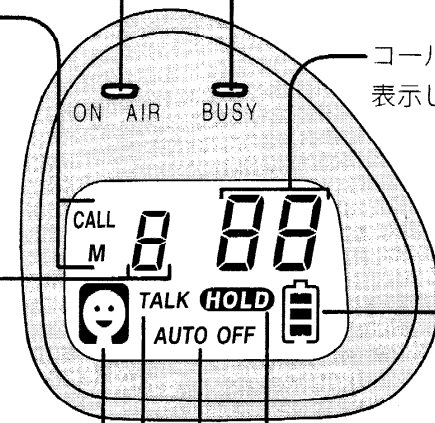
電池残量表示 **P6**

シークレット通信をオンにしているとき点灯します。 **P18**

ホールド状態のとき点灯します。 **P7**

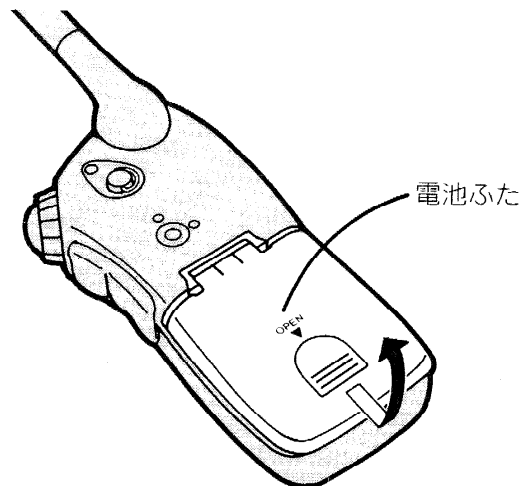
オートオフ機能を使っているときに点灯します。 **P19**

呼び出し通信中に点灯します。 **P12**



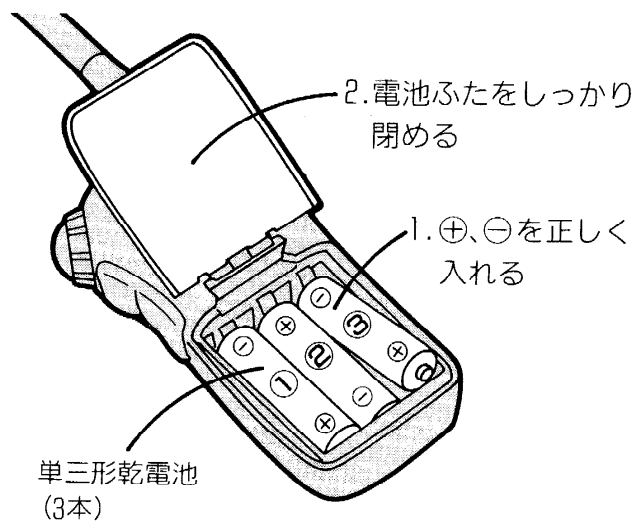
1

電池ふたを開ける



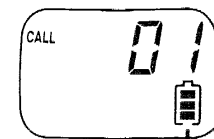
2

乾電池を入れる



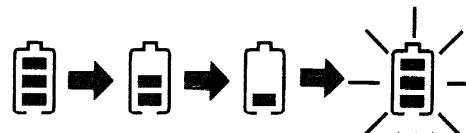
電池残量表示について

電源を入れると電池の残量が表示され、電池交換が必要になると点滅します。



電池残量表示

電池が消耗してくると



点滅

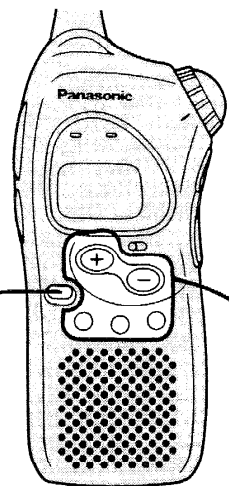
(電池交換してください)

電池を交換するときは、まず電源を切ってからにしてください。

乾電池は使いかたを誤ると破裂や破損、液もれのおそれがあります。次のことは必ずお守りください。

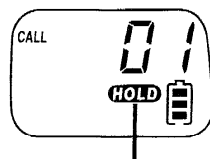
- 乾電池は充電式ではありません。
- 新しい乾電池と使用した乾電池は混用しないでください。
- ⊕プラスと⊖マイナスは正しく入れてください。
- 同じ種類の乾電池を使用してください。
- 長期間使用しないときは、乾電池の漏液による損傷を防ぐため、乾電池を取出しておいてください。
- 火の中への投入や、ショート(短絡)、分解、加熱などしないでください。

ホールド状態について



ホールド状態では、これらのボタンが使いません。

-HOLD・LIGHT ボタン



ホールド状態

誤操作を防ぐための機能です。

ホールド状態でも通信することはできますが、通信モードやコールナンバーをかえるなどのボタン操作ができません。

これらの操作をする前には、必ずホールド状態を解除してください。

コールナンバーなどをかえる必要のないときは、ホールド状態にしておくことをおすすめします。

ホールド状態を切替えるには

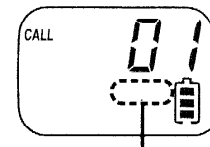
電源を入れてから操作してください。



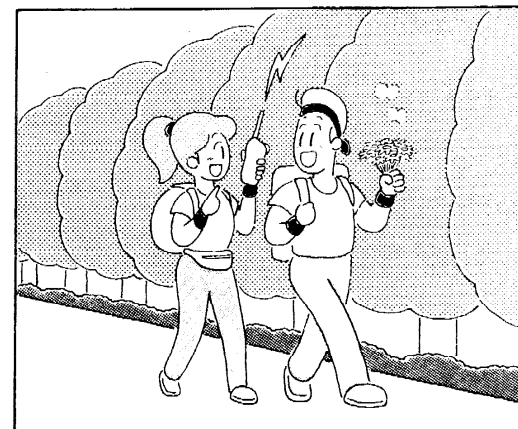
長押し(1秒以上)

押すごとに切替わります。

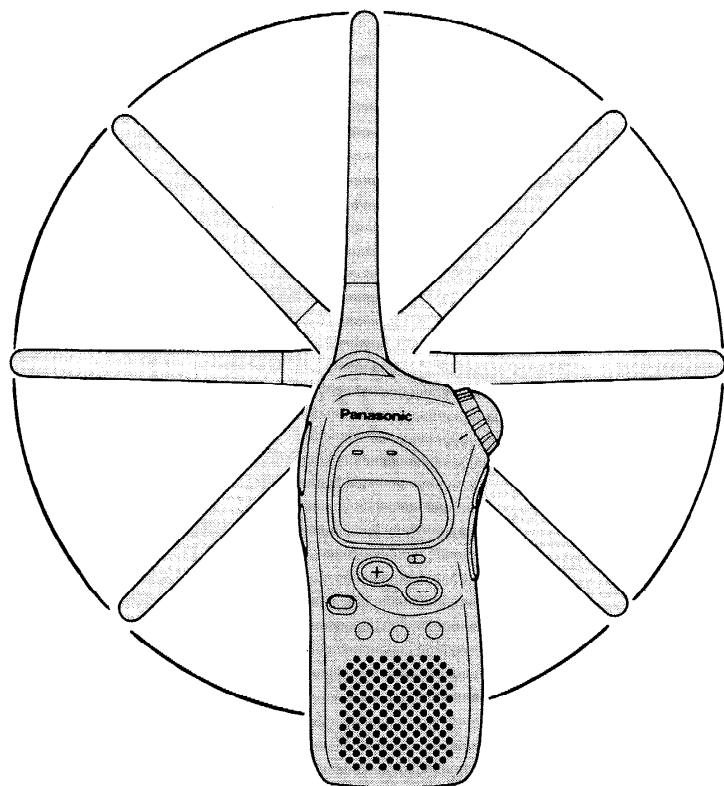
ホールド 解除



ホールド解除



アンテナのたてかた



アンテナは8か所でとまります。

通常は、アンテナを垂直にしたときもっとも感度がよくなります。

通信中にアンテナに手を触れたり、体に密着させていると通信距離が短くなります。

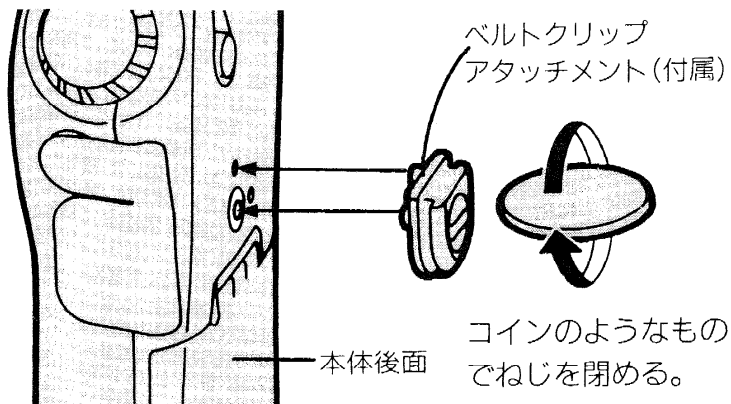
ベルトに取付けて使うときは、アンテナ先端が体に触れないよう調節してください。

ご注意：

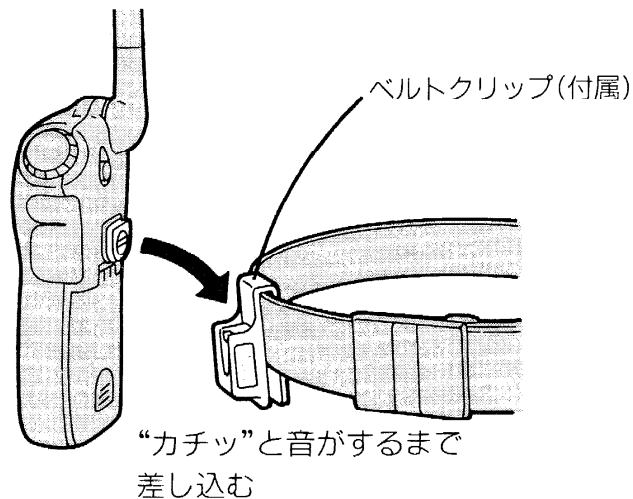
ベルトクリップアタッチメントを本体に取付けてあるときは (P9) それ以上回転しませんのでご注意ください。

ベルトクリップを使うには

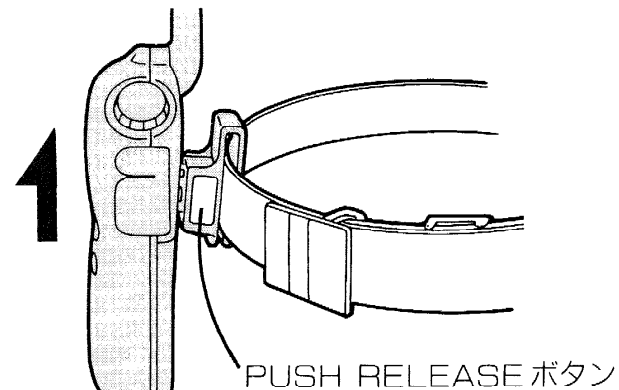
1 ベルトクリップアタッチメントを本体に取付ける



2 本体をベルトクリップに取付ける



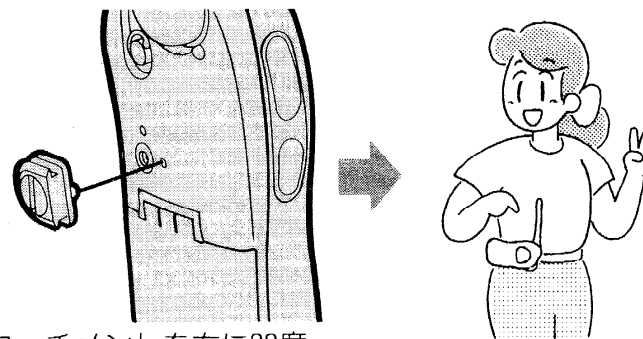
とりはずすとき



プッシュ リリース
PUSH RELEASE を押しながら本体を上へひきあげてください。

- 本体だけを着脱することができます。

本体を横向きにして取付けることもできます。



アタッチメントを右に90度かたむけて取付ける

通信方法について

RJ-MC100は、空いているチャンネル(周波数)を自動的に選んで通信するMCA(マルチチャンネルアクセス)方式ですので、めんどろなチャンネル合わせが不要です。

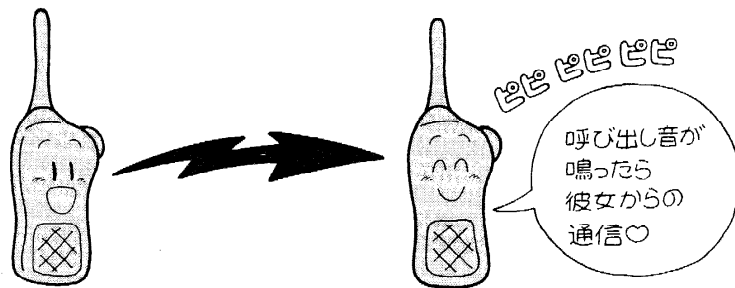
RJ-MC100以外のトランシーバとは通信できません。

呼び出し通信

コールナンバーを合わせるだけで相手呼び出すことができる電話感覚の通信です。

次のように通信します。

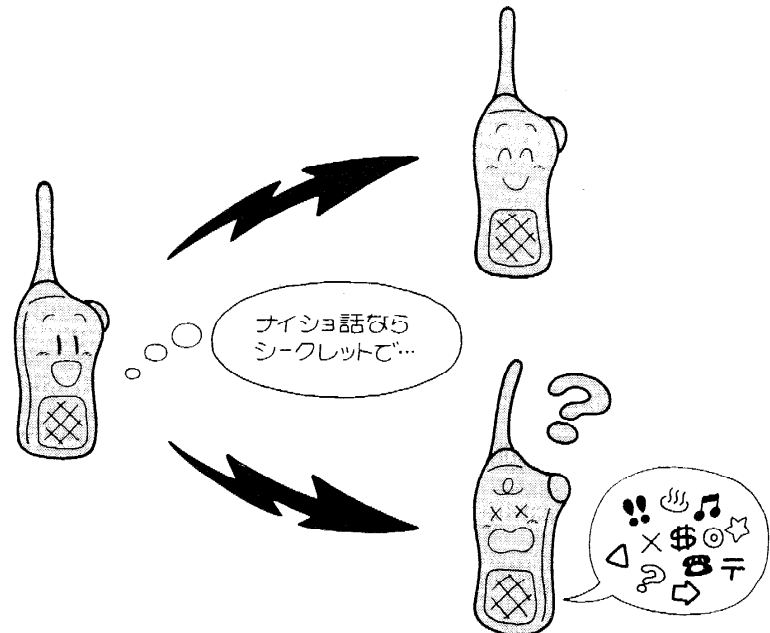
- 1 コールナンバーを合わせる
- 2 相手呼び出す
- 3 会話する



シークレット通信

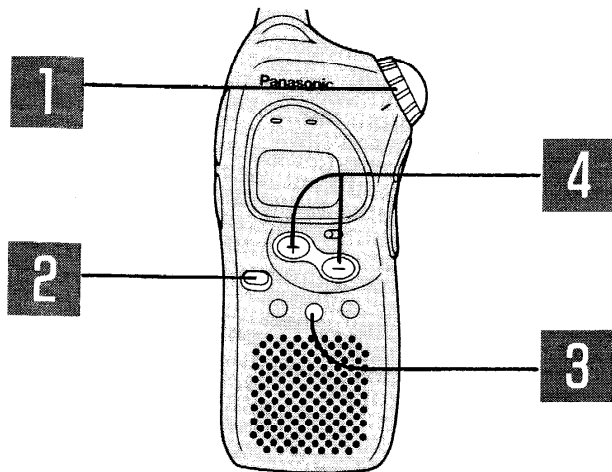
シークレット通信機能を使うと他の人には会話の内容が分かりません。

- 呼び出し通信と組み合わせて使います。



呼び出し通信

1 電源を入れ、コールナンバーを合わせる



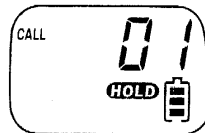
1

電源を入れる

つまみを右にまわす



ディスプレイが点灯します。



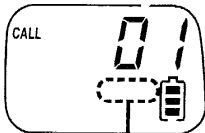
2

ホールドを解除する

長押しすることにより切り替わります。



ホールド → 解除

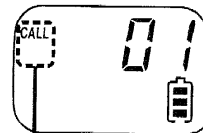
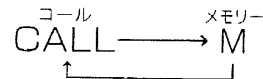


消灯

3

通信モードを切替える

長押しすることにより切り替わります。



通信モード

4

通信相手と同じコールナンバーに合わせる

③でCALLモードを選んだとき

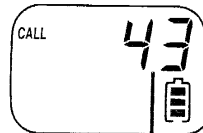


- ボタンを押すごとに1から99までのコールナンバーが表示されます。

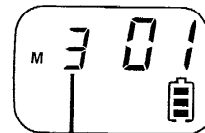
- 押しつづけると連続して数字が変わります。

③でMモードを選んだとき

- ボタンを押すたびにメモリー番号の1から5に登録されたコールナンバーが表示されます。

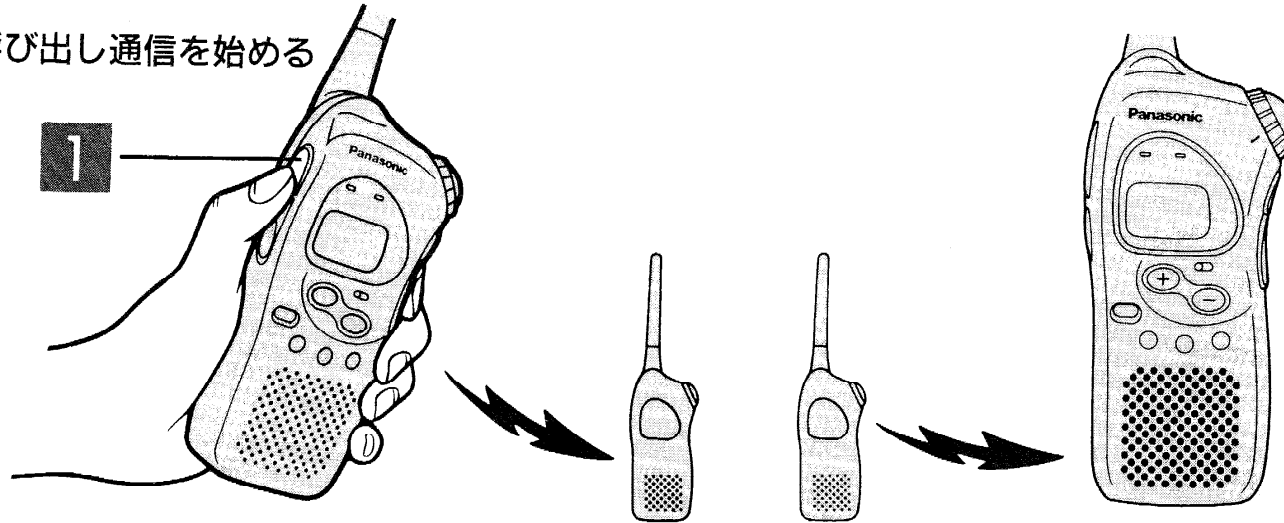


コールナンバー



メモリー番号

2 呼び出し通信を始める



● 相手呼び出すとき

1

通信相手呼び出す

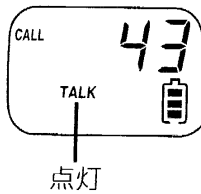
TALKを1回押して少し待つ(2~3秒)
押し続けてもかまいません。



2

呼び出し通信の開始

“ピ”という確認音が鳴り、ディスプレイのTALKが点灯します。



● 相手に呼び出されたとき

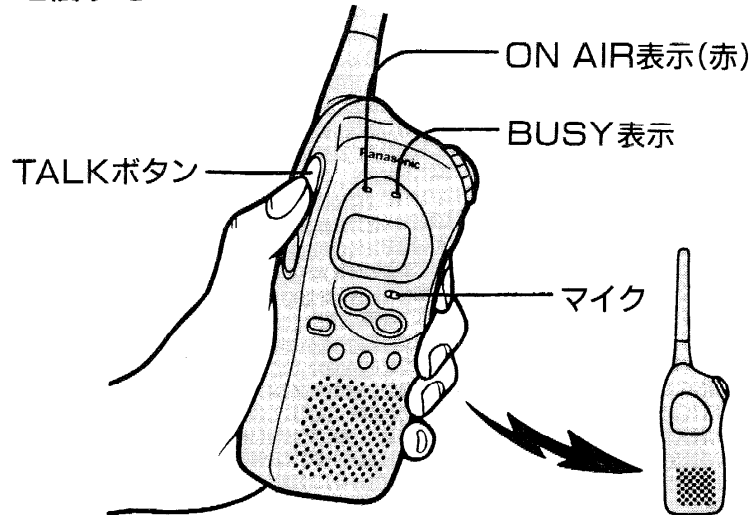
呼び出し通信の開始

“ピピ、ピピ、ピピ”という確認音が鳴り、ディスプレイのTALKが点灯します。



12 ● 通信相手がないときは“ピピピ”と音が鳴ります。P14

③ 通信する

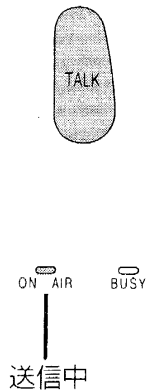


●送信するには

(BUSYが消灯しているとき)
TALKを押しながらマイクに向かってお話しください。

- 口元との距離は5cmぐらいが適当です。
- 近すぎると声がひずみ、離れすぎると聞こえにくくなります。

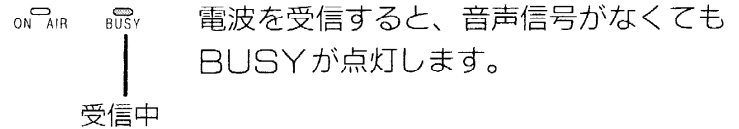
TALKを押すとON AIRが赤く点灯します。



●受信したら

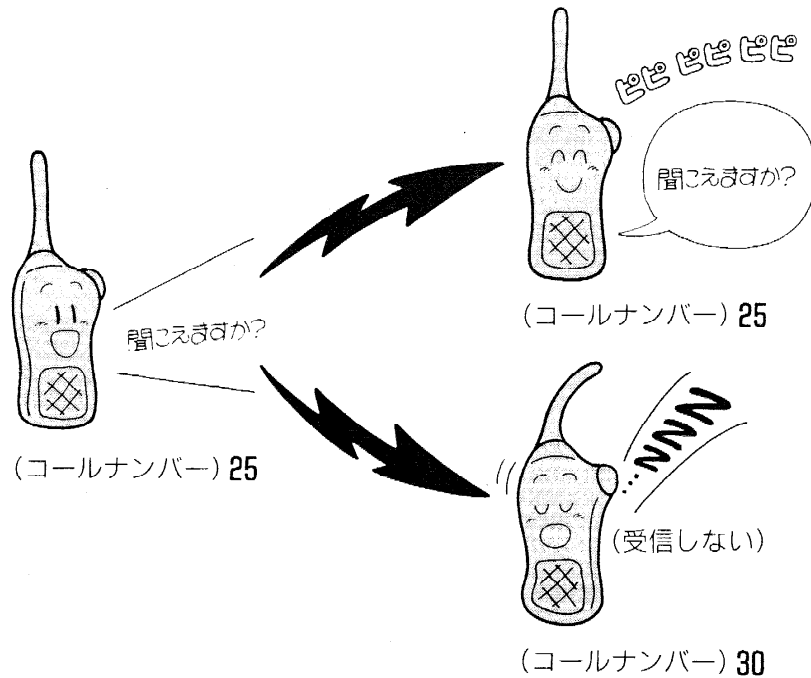
電波を受信するとBUSYが緑に点灯し、スピーカから相手の声が聞こえます。

- 音量つまみで音量を調節してください。



- BUSYが消灯したら、こちらから送信できます。

コールナンバーが違っているときは



通信相手がないときは

相手が電源を切っていたり、距離が離れすぎているときは、TALKを押しても、“ピピピ”という警告音が鳴り、通信が開始されません。

相手の声が聞きとりにくいときは

受信音が途切れて聞きとりにくいときはMONIボタンを押してください。雑音に混じって音声がかえることがあります。

- もとに戻すには、もう一度MONIボタンを押してください。

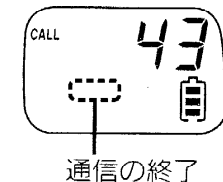
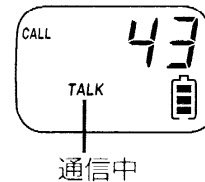
1回の通信時間は3分です

電波の独占防止のため、法律により通信時間が制限されています。

通信が始まると、ディスプレイのTALKが点灯し、3分間相互に会話できます。

通信時間が2分50秒を過ぎると、“ピ”という警告音が鳴り、3分を過ぎると“ピピピ”と音が鳴って通信が終了します。

続けて通信するときは、もう一度TALKボタンを押して呼び出し動作を行ってください。



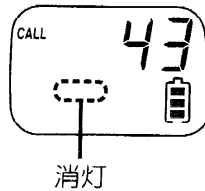
リセット操作について

3分以内に会話が終わったときは、相手と確認をとってからENTERボタンを長押しして通信を終了させてください。



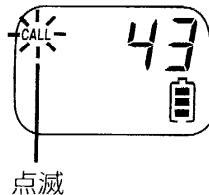
長押し

- "ピピ"と音が鳴り通信が終了します。



受信お知らせ表示について

呼び出し音が鳴ると(受信があると)、ディスプレイのCALLが点滅します。本機のそばを離れていたときなどに受信があったかどうか分ります。CALLが点滅していたら折り返し送信しましょう。



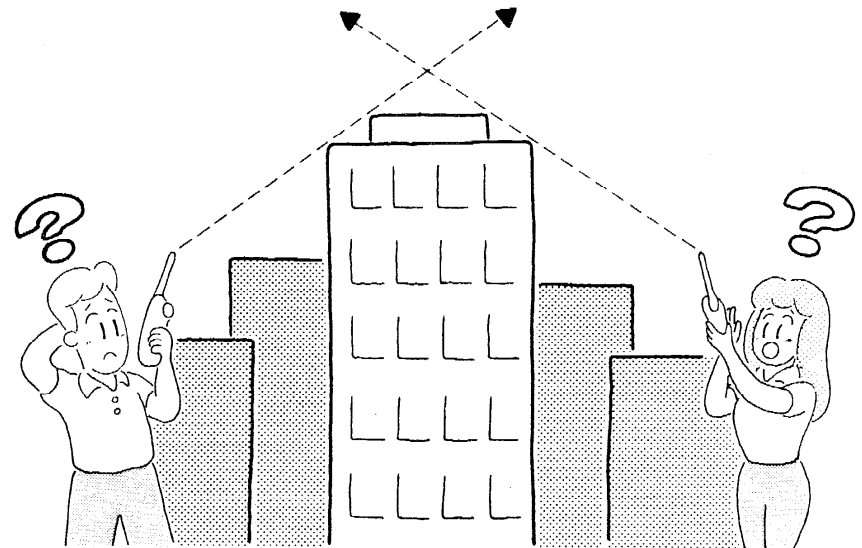
- いずれかのボタンを押すと、CALLの点滅が点灯にかわります。

電波のとどく距離は、場所や環境によってことなります

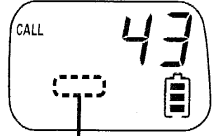
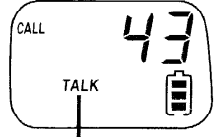
距離のめやす

市街地	100~200m
見通しのよい所	1.5~3km

- コンクリートの壁や自動車など金属物体の周囲では通信距離が短くなります。



途中で通信できなくなった

ディスプレイの状態	こんなときは	この方法で通信を再開できます
 <p>消灯</p>	<p>TALKを押しても“ピピピ”と音が鳴り、相手とつながらない。</p>	<p>電源を入れ直して、相手からの連絡を待ってください。</p>
 <p>点灯</p>	<p>相手からの応答がない。</p>	<p>ENTERを長押しする</p> <ul style="list-style-type: none"> ● TALK表示が消えます。 <p>その後、TALKを押して相手を呼び出してください。</p>

ご注意：

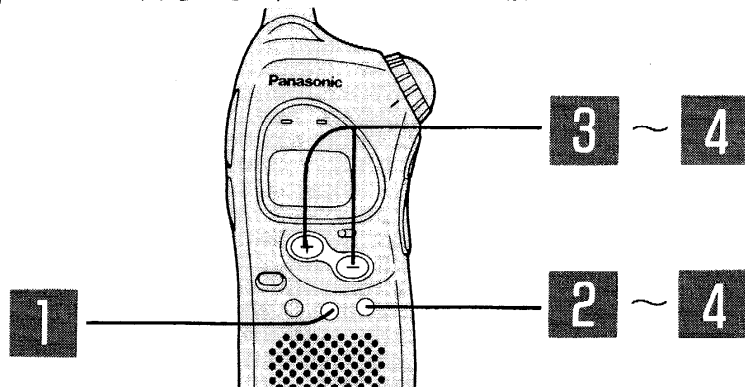
通信中は、コールナンバーや通信モードの変更ができません。
また、近くで使用している他のトランシーバの影響を受けて混信する場合があります。

通信の途中で電源を切ったり、リセット操作で通信を終了させるときは、必ず相手と確認をとってからにしてください。

コールナンバーを登録する


メモリー番号の1から5までによく使用するコールナンバーを登録しておくとう便利です。

例) メモリー番号の2に、コールナンバー25を登録



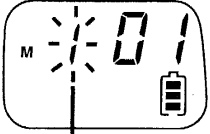
電源を入れ、ホールドを解除してから操作してください。

1 **通信モードをMにする**
 長押しすることにより
 コール → メモリー
 CALL → M
 と切り替わります。



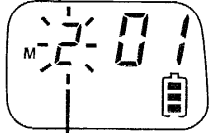
Mモード

2 **登録の開始**
 長押し




点滅(10秒)

3 **メモリー番号を選ぶ**
 押して番号を表示させ



メモリー番号

↓
 押す




ENTER

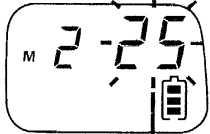
4 **コールナンバーを選ぶ**
 押してコールナンバーを表示させ

- コールナンバーは01から99まであります。

↓
 押す

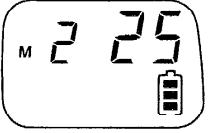


ENTER



コールナンバー

- “ピピ”と音が鳴り登録が終了します。



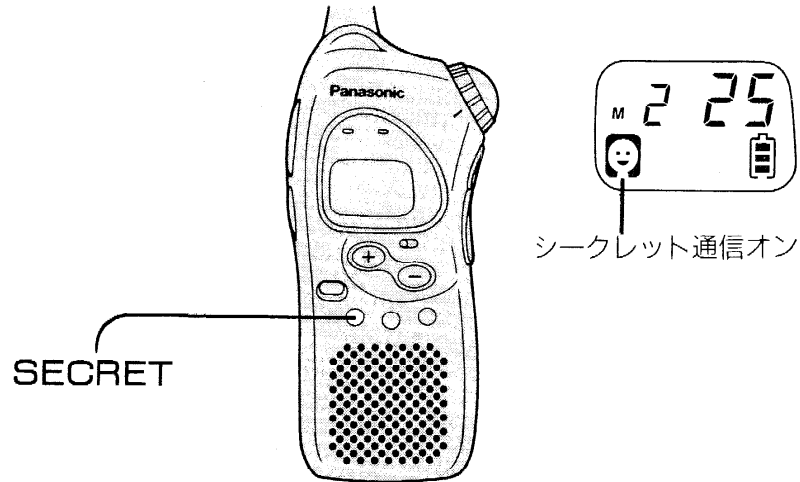
- 各操作の間隔を10秒以上あけると、登録開始前の状態にもどります。(登録されていません)

シークレット通信

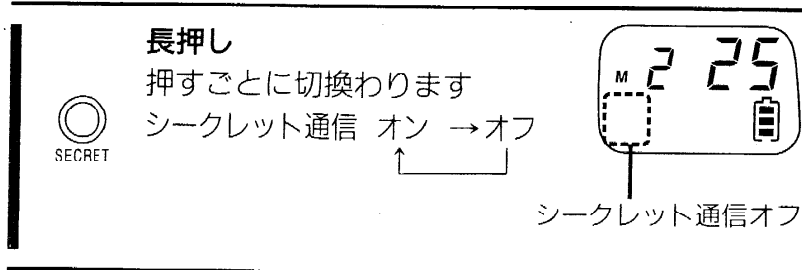
会話の内容を他の人に聞かれたくないときに便利です。

- どの通信モードにしてもシークレット通信できます。

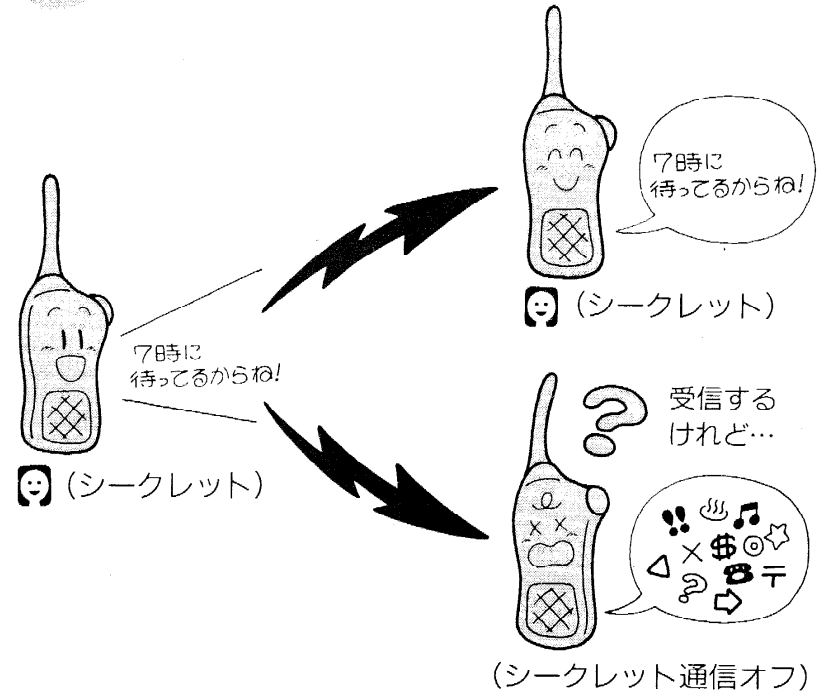
シークレット通信をするには



- ホールドを解除してから操作してください。



シークレット通信にすると



ご注意:

同じチャンネルでシークレット通信している人が他にいれば、その人には会話の内容が分かります。

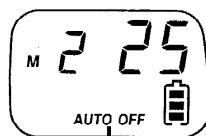


電源の切り忘れによる電池の消耗を防ぎます (オートオフ)

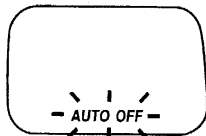
通信をしない状態が1時間以上続くと、自動的に電源が切れます。

⊕を押しながら電源を入れるたびに、オートオフ機能のオン/オフを切換えることができます。

- オートオフ機能によって電源が切れるとディスプレイのAUTO OFFが点滅します。(電源が切れています)
使用するまえに電源/音量つまみを回して、電源を入れなおしてください。



オートオフ



点滅

暗い場所で使用するとき(ディスプレイライト)

-HOLD・LIGHTをポンと押すと、ディスプレイが5秒間、明るくなります。

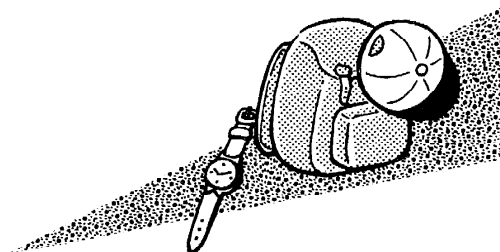
次の操作をしている間はライトが点灯し続け、操作を終えると5秒後に消えます。

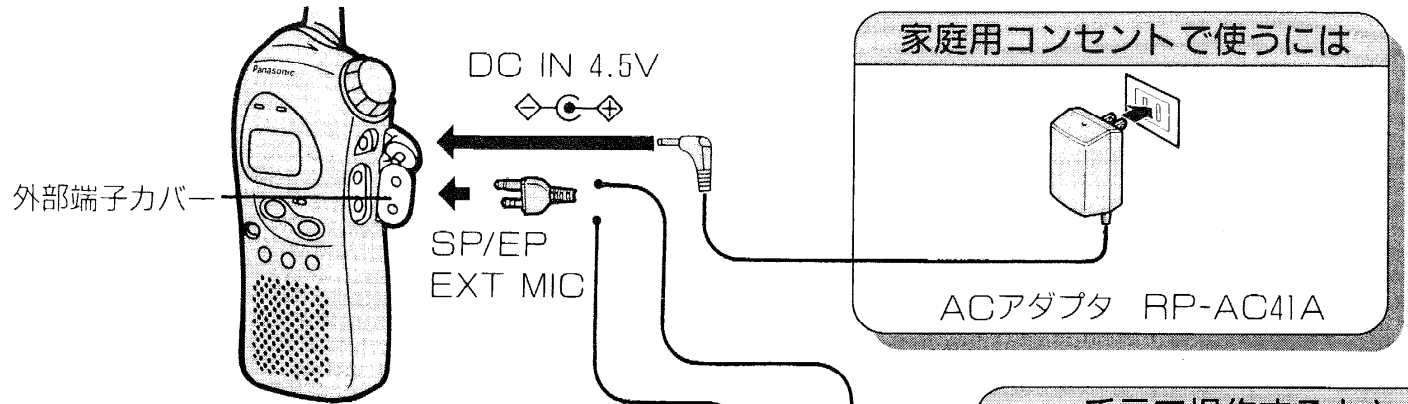
- 通信モードの切換え
- コールナンバーの切換えや登録

登録したメモリー通信の内容は電池を取り出しても大丈夫

次のような内容は電源を切ったり、電池を取り出している間も、覚えています。

- 登録したコールナンバー
- 最後に使用していた通信モードや、各通信モードで最後に使用していたコールナンバー
(次に電源を入れるとそのコールナンバーが呼び出されます。)
- ホールド、オートオフ機能、シークレット通信のオン/オフの状態





繰り返し使えて経済的

充電電池(3本パック)
RP-BP20

充電器 RP-BC20

●リボンが下向きになるように、充電電池を入れてください。

その他の別売りアクセサリ

- カーアダプタ SH-CDC9
- イヤホン RP-HV20

手元で操作するとき

スピーカマイク RP-VC20

ハンズフリーで使えます

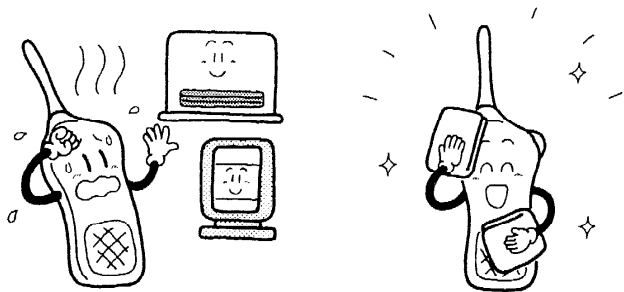
ヘッドセット RP-HM20

使用上の注意

- 夏季の閉切った自動車内や暖房器などの近くに放置しないでください。60°C以上の高温になるとキャビネットが変形・変色したり、故障することがあります。
- 本機は日常生活上の防滴が施されていますが、水の中などには絶対に入れないでください。水滴が付いたときには、必ず乾いた布で十分にふきとってください。(JIS規格防滴Ⅱ型)
- ラジオやテレビの近くでは電波妨害を与えたり、受けたりすることがありますので離れて使用してください。

お手入れは

- 柔らかい布でふいてください。
- 汚れがひどいときは水か石鹼水を含ませた布でふき、後は空ぶきをしてください。
- 化学ぞうきんをご使用のときは、化学ぞうきんの説明書をご覧ください。



故障!?と思つたら

修理を依頼する前にもう一度次の表でご確認ください。それでもなお異常のときは、「アフターサービス」の内容にしたがって、お求めの販売店へご相談ください。

こんなときは	ここをご確認ください
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ● ⊕、⊖が正しく入っていますか。 P6 ● 電池が消耗していませんか。 P6
通信できない	<ul style="list-style-type: none"> ● コールナンバーが相手と違っていませんか。 ● 相手との距離が離れすぎていませんか。
受信できない	<ul style="list-style-type: none"> ● TALK ボタンを押していませんか。 ● 相手がしゃべっていない。
電源が切れてしまった	<ul style="list-style-type: none"> ● オートオフ機能を使っていますか。 P19
ボタン操作できない	<ul style="list-style-type: none"> ● ホールド状態になっていませんか。 P7
音声がおかしい	<ul style="list-style-type: none"> ● シークレット通信になっていませんか。 P18

保証書（別に添付してあります。）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後大切に保管してください。

保証期間 —— お買い上げ日から1年間

修理を依頼されるとき

「故障!?と思うまえに」の項にしたがって調べていただき、直らないときには次の処置をしてください。

●保証期間中は

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、おそれいりますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

お買い上げの販売店にご依頼にならない場合には、お近くの「ご相談窓口」（別紙ご参照）にご連絡ください。

●保証期間が過ぎているときは

お買い上げの販売店へご依頼ください。
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

販売店にご依頼にならない場合には、お近くの「ご相談窓口」（別紙ご参照）にご連絡ください。

補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切り後6年です。

この期間は、通商産業省の指導によるものです。

アフターサービス等について、おわかりにならないとき

お買い上げの販売店またはお近くの「ご相談窓口」（別紙ご参照）にお問合せください。

定 格

電波型式：F3E, F2D

送受信周波数：422.0500～422.1750MHz(12.5kHzステップ11CH, F3E)
422.1875MHz(周波数制御チャンネル, F2D)

周波数安定度：±4ppm(−10°C～50°C)

電池持続時間：約35時間(別売りパナソニックアルカリ乾電池LR6使用)
約17時間(付属ナショナルネオ《黒》乾電池R6P使用)
約15時間(別売り充電電池RP-BP20使用)
(測定条件：送信6秒, 受信6秒, 待受け48秒)

使用温度範囲：−10°C～50°C

電源電圧：DC 4.5V(単三形乾電池×3個)
AC 100V, 50/60Hz(別売りACアダプタRP-AC41A使用)
DC 12/24V(別売りカーアダプタSH-CDC9使用)

送信出力：10mW

低周波出力：100mW(EIAJ)

受信感度：−9dBμ(12dB SINAD)

最大外形寸法：64(W)×132(H)×47(D)mm

重量：約224g(乾電池含む)

この定格は性能向上のため変更することがあります。

便利メモ (おぼえのために、記入されると便利です。)

お買い上げ日	年 月 日	品番	RJ-MC100
販売店名	電話 ()	-	
お近くのご相談窓口	電話 ()	-	

松下電器産業株式会社 オーディオ事業部
〒571 大阪府門真市松生町1番4号 ☎(06)909-1021

RQT1650-S F0992NO